



10月13日「第14回あしや秋まつり」を開催
あしや秋まつりが精道小学校校庭を中心に開催され、子どもみこし等のパレードや“だんじりの練り回し”など多くのイベントや縁日でにぎわい約33,000人のかたがたに楽しんでいただきました。

本市では、地球温暖化防止対策として、温室効果ガス削減に向けた取り組みや、環境負荷の低減に率先し



温室効果ガスの削減にむけて

芦屋市環境保全率先実行計画の実績報告

問い合わせ 環境管理課 ☎2051

た取り組みを目的とする「芦屋市環境保全率先実行計画」を平成十三年三月に策定しました。

市役所が「事業者・消費者としての立場から、市の全ての事務・事業および施設を対象に、平成十三年

度から平成十七年度までの五カ年計画として取り組んでいます。ここでは、初年度にあたる平成十三年度の取り組み状況についてお知らせします。

平成13年度における各数値目標への取り組み結果

数値目標	平成11年度実績	平成13年度実績	増減率
温室効果ガス総排出量の削減 (総排出量を8%以上の削減)	35,311(t-co ₂)	33,139(t-co ₂)	6.2%減
市施設等で使用する燃料使用量の削減 (使用量を5%以上の削減)	都市ガス 1,079,039 m ³	都市ガス 1,133,858 m ³	5.1%増
	重油 19,997 ㍲	重油 9,344 ㍲	53.3%減
	灯油 418,536 ㍲	灯油 5,513 ㍲	98.7%減
	LPG 6,712 kg	LPG 3,815 kg	43.2%減
	ガソリン 75,928 ㍲	ガソリン 75,606 ㍲	0.4%減
	軽油 44,493 ㍲	軽油 33,391 ㍲	25.0%減
電気使用量の削減 (使用量を5%以上の削減)	31,575,258 kWh	32,530,628 kWh	3.0%増
水使用量の削減 (使用量を5%以上の削減)	340,800 m ³	339,063 m ³	0.5%減
用紙類(コピー用紙)の使用量の削減 (使用量を10%以上の削減)	16,400,000 枚	16,467,500 枚	0.4%増
低公害車の導入 (導入割合を10%以上の増)	4.3% (8台/186台)	7.0% (12台/172台)	2.7ポイント増
紙資源回収の推進 (回収量を50%以上の増)	73,000 kg	99,865 kg	36.8%増

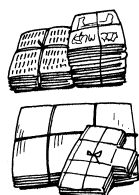
この計画は、「温室効果ガス総排出量の削減」「電気使用量の削減」「低公害車の導入」など、七項目にわたり、平成十一年度を基準として平成十七年度までに達成すべき具体的な数値目標を設定しています。

燃料使用量のうち都市ガスと、電気は、省エネ対策に取り組んできましたが、新規施設の開設や学校施設の建て替えに伴い、それぞれ五・一パーセント、三・〇パーセントの増加となりました。

水使用量は〇・五パーセントの削減となり、用紙類(コピー用紙)の使用量については、〇・四パーセントの増加となっています。

低公害車は、導入割合が七パーセントに、紙資源回収も三六・八パーセント増となりました。

これからも、地球温暖化防止や環境負荷の低減に向け、それぞれの数値目標を平成十七年度までに達成すべく、職員一人ひとりの日常的な取り組みを徹底していきます。



平成14年第4回市議会定例会の日程

平成14年第4回定例会は、12月2日(月)に招集され、20日(金)までの日程で開催する予定です。本会議・各委員会の予定は次のとおりです。傍聴を希望されるかたは、日程が変更になることがありますのでお確かめの上、ご来場ください。

- 11月29日(金)
【議会運営委員会】
- 12月2日(月)
【本会議】決算特別委員長報告、討論、採決、議案提案説明等
- 12月3日(火)～6日(金)
【各常任委員会】補足説明、質疑、討論、採決
- 12月9日(月)
【議会運営委員会】
- 12月10日(火)・11日(水)
【本会議】一般質問等
- 12月19日(木)
【議会運営委員会】
- 12月20日(金)
【本会議】委員長報告、討論、採決等

問い合わせ 市議会事務局 ☎38-2001

福祉車両の贈呈を受けました

(社)芦屋カンツリー倶楽部(奥山1-25、理事長・平田豊氏)は、社団法人制のゴルフ場であり、本年8月に開場50周年を迎えられました。その記念事業の一環として、9月20日、市役所北玄関前で本市に福祉車両2台を寄贈して頂きました。



「くすのきのいえ」で稼働中



「三条デイサービスセンター」で稼働中

1台は定員9人の乗用車で、「重度障害者サービス施設・くすのきのいえ」で使用しています。もう1台は車いすのまま乗れるリフト付乗用車で、「芦屋市立三条デイサービスセンター」で使用しています。

問い合わせ 保健福祉部総務課 ☎38-2040

凡例... 日時(日程)、開会場・場所、内容、対象・定員、講師、出演、費用(記載の無い場合は無料)、持ち物、申し込み、お問い合わせ

ごあんない Report

おしらせ

ゆうゆう倶楽部のご案内
市内在住のおおむね60歳以上の高齢者中心のグループに、教養・文化・趣味・世代間交流等の活動の場として、防音設備のある部屋を無料で開放しています。利用は年末年始(12月29日～翌1月3日)を除く毎日、9時～17時。

潮見ゆうゆう倶楽部(潮見小学校体育館2階) 20人 毎月・水・木・金曜日の9時30分～16時30分に、芦屋市老人クラブ連合会事務局(☎32-7558)にある申請書で朝日ヶ丘ゆうゆう倶楽部(朝日ヶ丘小学校3階) 40人 毎月曜日の10時～正午に、朝日ヶ丘コミュニティ・スクール(☎32-1123)にある申請書で 園高年福祉課(☎38-2044)

プレおや教室(母親教室)前期クラス
12月4日(水)13時30分～15時30分 園「マタニティエクササイズ」「妊娠中こんなことに気をつけよう」(運動のできる服装) 園保健センター
12月18日(水)9時30分～12時 園「妊娠中の食事～貧血予防のヘルシーメニュー」(調理実習) 園市民センター・料理室
12月25日(水)13時30分～15時30分 園「歯科検診と歯の健康相談」 園保健センター

とも園25人(要予約) 園母子健康手帳 園1,000円(テキスト代、材料費) 園保健センター(☎31-1586)

第3期やさしい気功教室
園12月5日～平成15年2月20日、いずれも木曜日(全10回)10時～11時30分 園体育館・青少年センター多目的室 園津山鮎子氏(NPO気功協会理事) 園16歳以上、25人 園8,000円 園11月16日(土)10時から、体育館・青少年センター1階窓口<先着順>へ。電話予約可 園文化振興財団スポーツ振興課(☎31-8228)

阪神NPOサミット2002
園12月1日(日)13時～17時30分 園伊丹市立文化会館「いたみホール」 園兵庫市のまつり(ふれあいの祭典事業)。基調講演「実践NPOのマネジメント」。分科会「障害者支援費制度とNPOの役割」「子育てしながら輝こう～親が自分を大切にするとヒント」「NPOのマネジメント～継続の秘訣について」「行政との協働～委託事業について」 園1,000円(分科会資料代) 園&園阪神NPOサミット実行委員会(☎0797-87-4350)

源泉所得税の年末調整説明会
園11月27日(水)14時～16時 園ルナ・ホール 園事前に送付した用紙(用紙が足りないときはコピー原稿をご利用ください) *車での来場はご遠慮ください 園芦屋税務署(☎31-2131)

個人事業者のかたの決算説明会
園12月6日(金)14時～16時 園市民センター401室 園事前に送付している青色申告決算書類等 *車での来場はご遠慮ください 園芦屋税務署(☎31-2131)

納期 12月2日まで

法人市民税・事業所得税(9月30日決算の法人等) / 課税課管理担当 ☎38-2015

毎月20日は「阪神地域ノーマイカーデー」環境にやさしいドライブマナーを

公民館 おしゃべり音楽会 ハートフル・クリスマス

日時 12月14日(土)午後1時30分～3時
会場 市民センター・音楽室
出演 ヴォア・セレステ(女声アンサンブル)、摩寿意英子(ハーブ)
定員 120人
曲目 アヴェ・マリア/きよしこの夜/ホワイトクリスマス/ハーブコンチェルト ほか
申し込み 往復はがきに、参加者全員の氏名・住所・電話番号を記入の上、11月30日(土)までに下記へ
問い合わせ 公民館 ☎35-0700(〒659-0068 業平町8-24)

パソコン講習会

日時 11月29日(金)・12月6日(金)午後1時15分～3時15分
会場 市民センター・217室
内容 簡単なワードの講習と来年のカレンダー作成
対象 初心者で、カレンダーに入れたい画像を持参でき、自宅にパソコンがあるかた16人
費用 1,000円
申し込み 往復はがきに、住所・氏名・電話番号を記入し、11月20日(水)までに下記へ
問い合わせ 公民館 ☎35-0700(〒659-0068 業平町8-24)

「源氏物語」原典を読む講座

日時 11月25日(月)午前10時～正午
会場 市民センター・401室
講師 鈴木紀子氏(京都橘女子大学教授)
費用 3,500円(5回分)
申し込み 当日直接会場へ
問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852



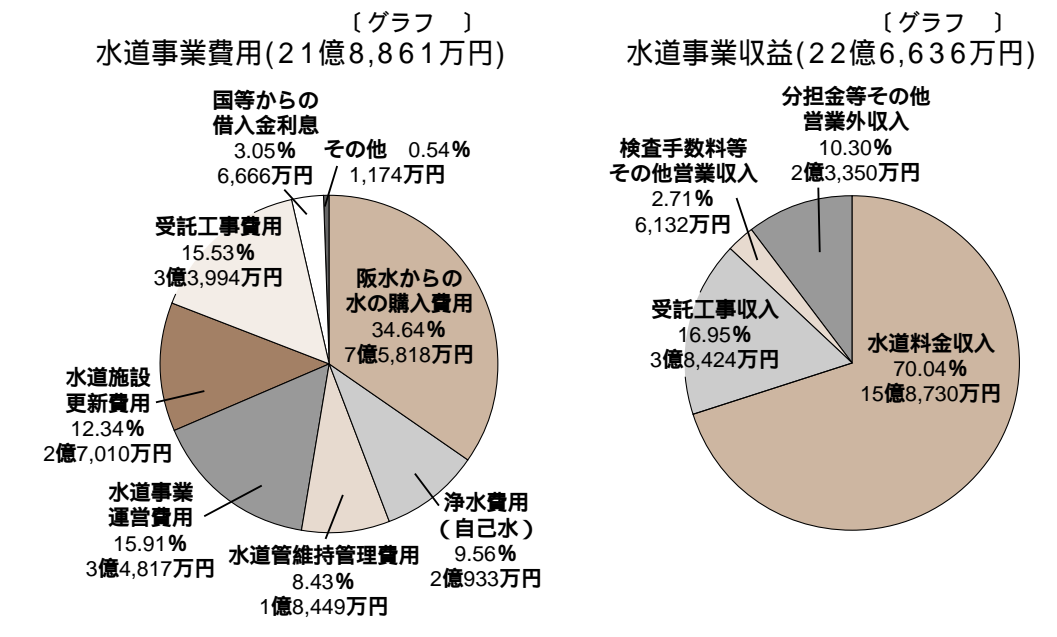
平成13年度 水道事業会計決算報告

～いぜんとして厳しい経営状況～
問い合わせ 水道部総務課 ☎38-2080

平成十三年度は、六層荘町地区の都市基盤整備事業の進捗よくに併せ、配水管布設工事に着手しました。また、昨年に引き続き、市内の老朽管改良工事を施工し、配水管を約四キロメートル更新しました。給水人口は、前年度より二千二百一十人増加し、八万六千三百二十二人となり、震災前の人口に回復しました。本年度は、水道料金を平均二・五九％改定しましたが、阪神水道企業団(阪水)からの受水費(分賦金)も十二・一％の値上げがありました。事業収入の主たるところは、給水料金が十五億八千七百三十万円で、前年度より二・二％の増、分担金が一億九千九百七十八万円で二十・〇％増で、収入総額は二十二億六千六百三十六万六千九百六十九円となり、震災以降の最悪水準を計上し、平成八年度以来五年ぶりに単年度黒字になりました。しかし、震災以降に付いている累積赤字

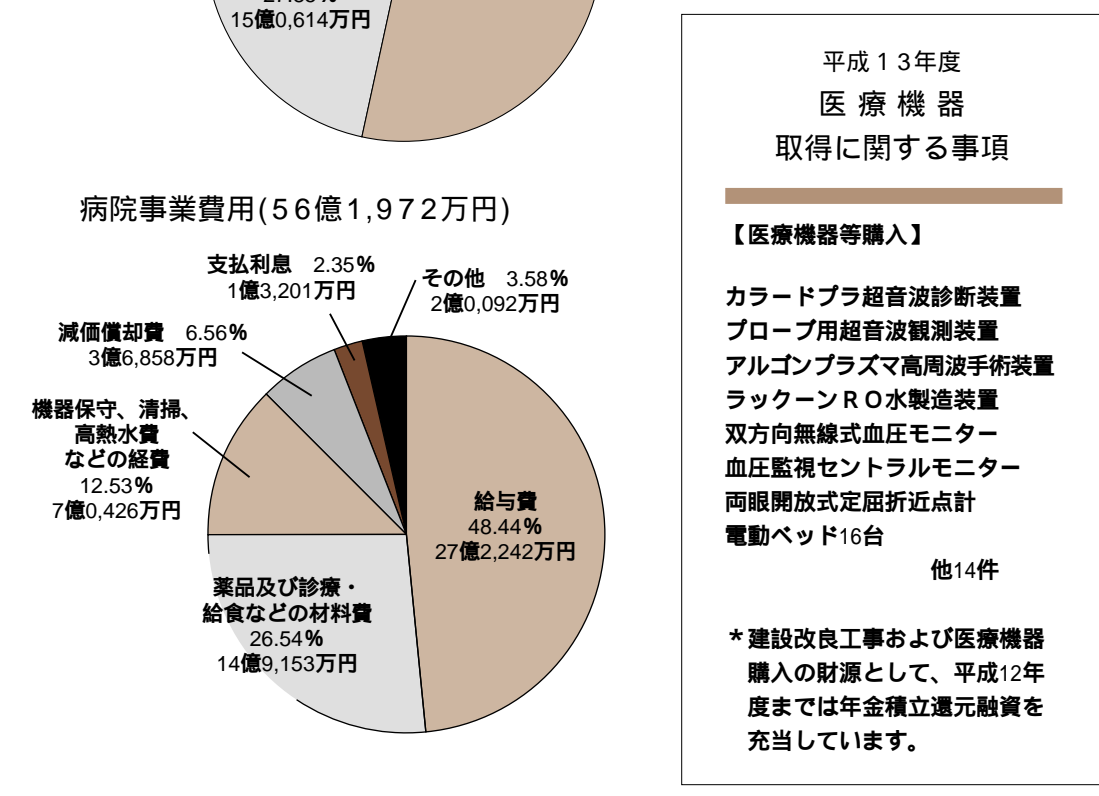
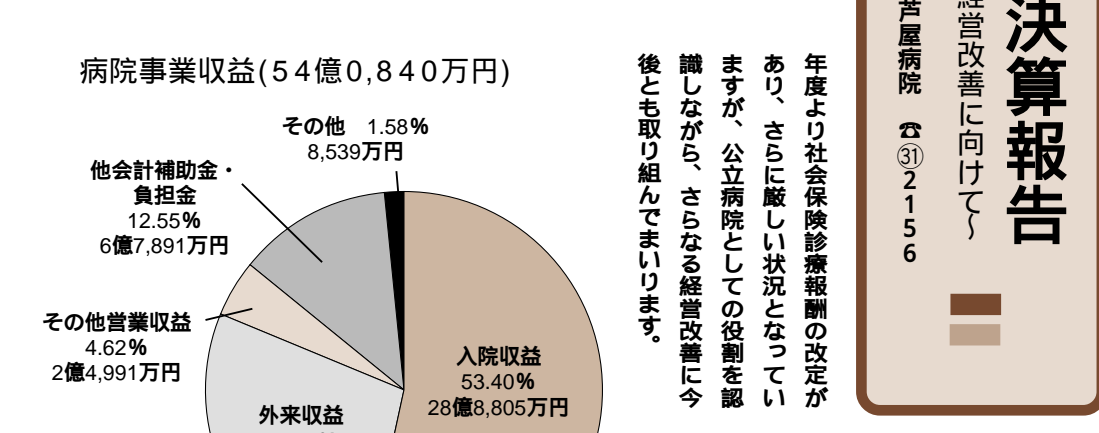
	平成13年度	平成12年度	増減
職員数	41人	43人	2人
給水人口	86,302人	84,281人	2,021人
総配水量	11,283,313m ³	11,138,578m ³	144,735m ³
自己水量	1,452,523m ³	1,568,968m ³	116,445m ³
阪水受水量	9,830,790m ³	9,569,610m ³	261,180m ³
有収水量	10,384,185m ³	10,351,172m ³	33,013m ³
有収率	92.03%	92.93%	0.90%
水道事業収益	22億6,636万円	19億3,986万円	3億2,650万円
水道事業費用	21億8,861万円	20億2,438万円	1億6,423万円
純利益	7,775万円	8,452万円	-677万円
累積欠損金	7億0,512万円	7億8,287万円	-7,775万円

【語句の説明】 総配水量... 1年間に芦屋市内へ配水した水の量
自己水量... 芦屋市の浄水場でつくられた水の量
阪水受水量... 阪神水道企業団から供給された水の量
有収水量... 総配水量のうち料金徴収の対象となった水の量
有収率... 総配水量に占める有収水量の割合



平成十三年度は、入院患者数八万七千三百七十七人前年度より二千二百十八人増加し、外来患者数は十六万四千九百四十七人と前年度より四千六百五十三人の増加となりました。経営状況につきましては、病院事業収益五十四億八百四十万円、病院事業費用は五十六億一千九百七十二万円で差し引き二億一千一百三十二万円(前年度は二億四千七百八十二万円)の純損失となり、累積欠損金は四十八億一千四百七十七円となりました。医療機器については、定期的整備していく必要があるため、カラードブラ超音波診断装置、プローブ用超音波観測装置、ラックオンRO水製造装置、電動ベッド等を購入しました。

	平成13年度	平成12年度	増減
入院患者数	87,317人	85,099人	2,218人
1日平均患者数	239.2人	233.1人	6.1人
病床利用率	88.0%	85.7%	2.3%
延べ患者数	164,947人	160,294人	4,653人
1日平均患者数	673.3人	654.3人	19.0人
診療日数	245日	245日	0日
病院事業収益	54億0,840万円	52億8,394万円	1億2,446万円
病院事業費用	56億1,972万円	55億3,176万円	8,796万円
純損失	2億1,132万円	2億4,782万円	3,650万円
累積欠損金	48億2,407万円	46億1,275万円	2億1,132万円



平成13年度 芦屋病院事業会計決算報告

～公立病院の役割を果たし、さらなる経営改善に向けて～
問い合わせ 芦屋病院 ☎31-2156

年度より社会保険診療報酬の改定があり、さらに厳しい状況となっておりますが、公立病院としての役割を認識しながら、さらなる経営改善に今後とも取り組んでまいります。

平成13年度 医療機器 取得に関する事項

- 【医療機器等購入】
カラードブラ超音波診断装置
プローブ用超音波観測装置
アルゴンプラズマ高周波手術装置
ラックオンRO水製造装置
双方向無線式血圧モニター
血圧監視セントラルモニター
両眼開放式屈折近点計
電動ベッド16台
他14件
*建設改良工事および医療機器購入の財源として、平成12年度までは年金積立還元融資を充当しています。

こちらでも「広報あしや」を入手できます

「広報あしや」は、毎月1日と15日に、新聞折り込みで各ご家庭に配布しています。また、次の公共施設等でも「広報あしや」を入手できます。

- 【阪急以北】 奥池集会所、芦屋病院、聖徳園、朝日ヶ丘集会所、三条デイサービスセンター、消防署東山出張所(24時間対応)、芦屋東山郵便局、芦屋西山郵便局
 - 【阪急～国道2号】 市民センター、社会福祉協議会、ラポルテ市民サービスコーナー、上宮川文化センター、翠ヶ丘集会所、大原集会所、前田集会所、コープミニ西芦屋
 - 【国道2号～国道43号】 芦屋健康福祉事務所(芦屋保健所)、商工会、保健センター、芦屋税務署、芦屋警察署、体育館・青少年センター、打出教育文化センター、春日集会所、茶屋集会所、市役所
- 「広報あしや」は、「芦屋市ホームページ」でもご覧いただけます。 アドレス <http://www.city.ashiya.hyogo.jp/koho/index.html>

1時間目	00	みてみて9(番組ガイド)	6:00
	05	あしやNOW(*)フォーカス芦屋「税金よくあるQ&A 固定資産税」	8:30
	25	平成14年度「第23回 自由研究発表大会」 精小6年・若本なつほ/宮小6年・佐藤万里子/山小6年・堂脇義音/ 若小6年・大倉正徳/朝小6年・尾崎睦子/潮小6年・西尾佳奈子/ 打出浜小6年・川井健太/浜風小6年・炭原美波 精中1年・中村紗和子/山中1年・西尾未奈子/潮中1年・水田早苗	11:00
			13:30
			16:00
2時間目	00		
	37	播りつきり芦屋(*)「芦屋老人クラブ連合会：男性料理教室」	18:30
	45	文字放送「救急当番医」「芦屋市の相談窓口」	
	50	西宮ライブラリー 町名の由来「東山台・名塩新町 ほか」	21:00
		ニッポンみたま(30分)「バイオマスって知ってます?～新技術による環境保護と経済発展」	

放送時間 午前6:00～午後11:30(上記の順に午前6時から2時間30分サイクルで7回繰り返して放送します) (*印の番組はビデオの貸出可)
9チャンネルの番組に関する問い合わせ 広報課 ☎38-2006 ケーブルテレビ全般に関する問い合わせ 朝ケーブルネット神戸芦屋J-COM Broad band 神戸・芦屋 ☎0120-13-8160

日々の生活と人権を考える集い2002

人権週間記念事業講演会
「男はつらいよ「寅さん」を語る」

日時 12月13日(金)午後1時30分～(開場午後1時)
会場 ルナ・ホール
講師 山田洋次氏(映画監督)
定員 650人<当日先着順>

手話通訳、要約筆記があります
託児(2歳以上・要予約)もあります

問い合わせ 生活環境部人権推進担当 ☎38-2055

丹波陶の郷・立杭焼き絵付け体験と丹波お菓子の里を訪ねるバスツアー

晩秋の丹波を訪れ、「陶の郷」で立杭焼きの絵付けを体験し篠山城址を地元、観光ボランティアの案内で散策します。「丹波お菓子の里」のレストランで庭園を眺めながら昼食。その後、キンピアパーク神戸(三田キンピール工場)を見学し、試飲します。

日時 11月22日(金)午前8時30分～午後5時
帰着は、交通事情により若干遅れる場合があります

集合 午前8時15分、市役所南館 地下1階玄関前
定員 43人(定員に達し次第締め切りです)
費用 芦屋観光協会会員 6,500円、一般 7,000円(当日、徴収します)
申し込み 11月15日(金)午前9時から、電話で下記へ
問い合わせ 芦屋観光協会事務局(経済課内) ☎38-2033

水道まめ知識

Q 水道水のカルキ臭を消す方法は?
A 水道水には安全な水を濾過できるような濾過のため塩素を注入していますので、その塩素の臭いがする場合があります。しかし、この塩素の臭いがお茶やコーヒーなどをいれると味に影響することがあります。このようなときは、前日の夜から汲み置きし、ふたを開けて2～3分沸騰させればカルキ臭は消えますのでお試しください。

Q 奥山貯水池の水は、どのように利用されていますか?
A 奥山貯水池は、昭和四十六年三月に完成し、本谷・樽谷・イモリ谷から取水し貯水しており、貯水量は三四万立方メートルとなっています。奥山貯水池の水を利用して奥池浄水場で浄水を作っていますが、この浄水は奥池地域にお送りしています。また、奥山浄水場では芦屋川の水で浄水を作っていますが、降雨で芦屋川の水が濁ったり、降雨が少なく取水量が不足したとき奥山貯水池から補充しています。

問い合わせ 工務課浄水担当 ☎32-095

教育の EDUCATION ページ

このページの問い合わせは
打出教育文化センター(☎38-7130)へ

こんな活動をしています 打出教育文化センター

打出教育文化センターでは、教職員を対象としたさまざまな講座を開いたり、研究部会を設け今日的な教育課題の研究を行なうほか、教育相談事業も行っています。



平成14年度の研修講座テーマ一覧

- 5月 「高座の滝付近」に出かけてみよう(野外観察)
- 6月 すく役に立つ！小学校英語活動
- 7月 自然から学ぼう
情報教育講座(幼稚園)ワード&エクセル中級講座 ~ お話の読み聞かせやストーリーテリングの魅力とその実践
情報教育講座：もう少しワードを使ってみよう
総合的な学習の時間に身につける力とその評価
情報教育講座：エクセルでいろいろやってみよう
私の人権、みんなの人権 - 聴き合える場と関係を作ろう
情報教育講座：パワーポイントを使ってみよう
基礎基本の確実な定着を目指した指導と評価の工夫
情報教育講座：画像を加工してみよう
学校園生活におけるカウンセリング
情報教育講座：実際の授業でパソコンを使おう
子どもと思いやりの発達
- 8月 情報教育講座：ホームページ作成
児童の感性をくすぐる科学遊びと理科授業
情報教育講座：ホームページ作成
日本音楽の効果的な指導方法
学校園の野菜作り()
情報教育講座：ホームページ作成
キレル・ムカつく、じっとできない子とどう関わるか
情報教育講座：ホームページ作成
- 9月 生き生きとした写真を撮るために(幼稚園)
生き生きとした写真を撮るために(小・中学校)
- 10月 だれにでもできる国際協力
幼稚園における絵画製作の基本と実践
LD・ADHDとその周辺 学校における配慮と支援 (LD：学習障害、ADHD：注意欠陥/多動性障害)
- 11月 生き生きとした生活をおくるために・・・
中国の高校生と日本語教育
- 1月 使いこなそう デジカメ！こんなことができます



先生の研修講座

打出教育文化センターでは、市内の幼・小・中・高等学校の教職員を対象として、例えば「児童の感性をくすぐる科学遊びと理科授業」のような「多様な指導方法の工夫や実践力、実技や実習を通じた指導技術の向上を図るための研修講座」、「キレル・ムカつく、じっとできない子とどう関わるか」といった「今日的な学校での諸課題をテーマにした研修講座」、また「実際の授業でパソコンを使おう」などの「情報教育の充実

より専門的な研究も

研修講座だけでなく「総合的な学習研究部会」、「情報教育研究部会」、「教育相談研究部会」、「基礎・基本研究部会」の四研究部会を設け、当センターが委嘱した研究員が今日の学校における教育課題について研究活動を展開しています。各研究部会



打出文化センターの教育相談

打出教育文化センターでは、一般的な教育相談や、情緒不安・発達遅滞など、幼児・児童対象の教育相談と遊戯療法を行っています。保護者のかたとともに考え、必要に応じて幼稚園・学校とも連携を図っています。

対象
市内在住の幼児、児童、生徒(高校生まで)、およびその保護者
受け付け
月曜日～金曜日、午前9時～午後5時
遊戯療法は、月・火・木曜日の午後1時から午後5時まで、1時間単位です。
所在地
打出小槌町15-9

芦屋市ホームページ内にある「打出教育文化センター」のページもご覧ください。

<http://www.edu.city.ashiya.hyogo.jp/uchibun/index.htm>

「総合的な学習研究部会十一人」
「総合的な学習の時間の授業づくりと評価」を研究テーマとして、主体的な問題解決能力の向上を図り、具体的な観点、評価をもとに授業実践のあり方について研究。
情報教育研究会九人
「情報教育におけるカリキュラムの実践」を研究テーマとして、授業の中で情報機器の活用、情報通信ネットワークなどを活用し、学習効果を深めるために、カリキュラムの実践を通して確かなものになるように研究。
教育相談研究部会四人
さまざまな事例を通して不登校傾向をもつ児童・生徒の学校生活における指導や援助について研究をすすめ、ぬくもりのある生徒指導のあり方を研究。
「基礎・基本研究部会七人」
「基礎・基本の学力の定着を図る指導方法 読み・書き・計算見える学力を中心に」を研究テーマとして、基礎・基本の学力の定着、充実を図るための指導過程、指導方法について研究。

歴史散歩 43

今も残る戦前の面影 8
西芦屋町

「西芦屋町」という町名は、旧大字芦屋の西側に位置することから、昭和十九年(一九四四)の町名改正で名付けられました。町名改正が行われる以前、町内には「寺田」、「岸ノ下」、「西ノ口」の三つの小字名がありました。

昭和初期、その小字寺田の一角に入園無料の私設動物園「伊藤動物園」(通称)がありました。二百坪の園内には、ロバ・サル・クジャク・リス・ウサギ、池付の小鳥小屋があり、ソウの形をした滑り台・ブランコなどの遊具も完備され、手作りの砂山やトンネル(コンクリート管を代用)もありました。また、動物園の入り口には「布袋さん」の石造品もあったと言われています。

この動物園は、七ぶく製菓の社長であった伊藤氏が開園したのですが、戦後廃園になったと言われています。現在市内には、サルの公園で親しまれている打出公園がありますが、その公園が開園する約三十年前に、すでに動物のいる公園(動物園)があったことに驚きを感じます。

この伊藤動物園の写真や遊ばれた思い出をお持ちのかた、ぜひ美術博物館歴史学芸課までご連絡ください。後世に伝え残したい芦屋の原風景の一つなのです。



問い合わせ 美術博物館 ☎5432